



9人の日本共産党北九州市会議員

前列左から 藤元聡美(八幡東区)、藤沢加代(小倉南区)、石田康高(八幡西区)、高橋都(門司区)  
後列左から 出口成信(小倉北区)、田中光明(八幡西区)、山内涼成(若松区)、柳井誠(小倉南区)、  
荒川徹(戸畑区)

希望と安心の北九州市と日本を

6月議会は、4期目の北橋市政発足後、最初の予算議会でした。2019年度予算について北橋市長は、「日本一住みよいまち実現予算」と打ち出しました。日本共産党は、全国でも最大の人口減が示す市勢の停滞を打開するためには、雇用を守り、命とくらしを大切にす市政への抜本的な転換が求められていると指摘。そのため、最低賃金の大幅引き上げと公契約条例の実現、学校給食の無償化、子ども医療費の拡充、高齢者福祉乗車券の実現、国保料の大幅引き下げなどを提案しました。

また今議会では、宿泊税の導入とカシノを中核とする統合型リゾート・IR誘致の問題が議論の焦点となりました。

予算では、日本共産党がみなさんと取り組んできた市民要求も実現しています。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2019・7・22 No.544

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内 1-1 TEL (093) 582-2646 ・ FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス▶日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>

下関北九州道路

国と2県2市で構成する調査検討会が、3月8日に発表した第二次報告書の追及を通して、問題点がさらに浮かび上がりました。

物流代替道路にはならない

山口県は、国に下北道路を中国道につなぐ新たな道路建設を要請していますが、国は検討もしておらず、実現の展望はありません。「そうした中で物流機能の代替を果たせるのか」との質問に、市は「既存道路で対応できる」と答えましたが、下関市街地を通るルートでは、物流代替機能は果たせません。

自然災害で通行できるのか

報告書には「地震や津波等の災害時に通行できる道路」と記載されていますが、それはどんな道路なのかと質問。市は「災害時に通行できるとは想定していないが、短時間で機能回復できる道路」と答えましたが、根拠は示されませんでした。

毎年44億以上の赤字が30年、交通量予測も過大。採算性なし

市は下北道路の1日交通量を22200台、料金を280円と設定。実際とは真逆の過大な需要予測にもとづきます。それでも毎年44億円以上の大赤字(右記)です。市は整備手法について、「民間手法によって行う」と答えるのみでした。



毎年44億円以上赤字とは

収入	普通車通行料	280円
	1日通行台数	22200台
支出	年間収入	約23億円
	建設費	2000億円
収支	返済期間	30年
	年間返済額	約67億円
収支		23億円-67億円=▲44億円

支出に返済利子や維持費を加えれば赤字はもっとふくらみます。

自衛隊18歳名簿閲覧

自衛隊への事実上の名簿提供やめよ

市が今年度から、自衛隊に18歳男子の名簿を、データの抽出という形で閲覧をさせていた問題について、「住民基本台帳法」の規定を超えるものと主張。市は「対象外の個人情報の閲覧防止の観点から」抽出したと、すり替えました。

平和資料館

戦争の要因、憲法の大切さ学べる史実に沿った展示を

建設予定の平和資料館について、戦争の要因、戦後復興における平和憲法の役割を学べる展示とすること、朝鮮人の強制労働の実態など史実に沿ったものとするよう求めました。市は徴用工は「様々な見解があるから」と展示を拒否。共産党は、強制労働は動かしがたい事実であり、展示すべきと主張しました。

ギャンブル依存症増やし人の不幸の上に成り立つカジノ(IR=統合型リゾート)に断固反対

IRとは、カジノを中核施設とし、ホテルや商業施設、遊園地などを含む統合型リゾート。その誘致を自民・ハートフルなどが主張しました。

カジノは日本で認められてこなかった民間賭博ですが、安倍政権が合法化しました。

カジノはIR総面積の3%とされ

ていますが、IR収益の8割がカジノです。他の施設はあくまでカジノへの集客のための施設です。

日本のギャンブル依存症は推計320万人(3.6%)で、諸外国と比べ大変多い。依存症をさらに増やし、人の不幸の上に成り立つ民間賭博はやるべきではありません。



シンガポールのIR マリーナ・ベイ・サンズ(阪急交通社HPより)=米カジノ業者が展開。一般の人々がスロットマシンを含め毎年1兆円以上を賭博に投じています。

